

## (企画挨拶)勤務環境改善プロジェクト報告

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-12-21 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 本多, 祥子 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10470/00033041">http://hdl.handle.net/10470/00033041</a>

### 勤務環境改善プロジェクト報告

本多 祥子

東京女子医科大学解剖学 准教授

ダイバーシティ環境整備事業推進室長

東京女子医科大学は、平成 28 年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型）」に採択されました。本事業は、研究者のライフイベント及びワークライフ・バランスに配慮した研究環境の改善や、それに向けた機関内の意識改革、女性研究者の裾野の拡大、女性研究者の研究力の向上及び上位職への積極登用に有効な、部局横断的な取り組みなどを行う大学等を支援するものです。本学では、実績をあげてきた従来のプロジェクトにさらに多様な視点と発想を取り入れ、女性研究者の研究力向上・上位職登用実現のための取り組みを進めております。その一環として、平成 29 年度、30 年度は、本学教員としてのキャリア形成に向け『女性医師・研究者の所属する医局における勤務環境改善プロジェクト』を実施いたしました。

この『勤務環境改善プロジェクト』を実施する診療科としては、学内でも特に女性医師・研究者が精力的に育成されている科が複数選定され、医局員有志によるワーキンググループが中心となって座談会を開くことにより医局内の課題を抽出、検討し、数か月間をかけて改善を実施してきました。第 1 回座談会では、我が国の勤務医の勤務環境の現状について情報共有を行い、自らのキャリアイメージについて考え、その実現のための課題について活発な意見交換を行いました。すなわち多様な働き方を可能にするための、研究・教育など診療以外に必要な時間の確保、短時間勤務を当たり前にする意識醸成、不公平感の是正などについて様々な視点で検討し、各診療科における組織としてのテーマを設定しました。その後、第 2 回、第 3 回座談会を通して各テーマに関する具体的な取り組み計画を立案・作成し、ワーキンググループのメンバー自身がその計画に沿って各医局の問題解決に適した勤務環境改善を実施してきました。

今回のシンポジウムでは、女性医師のキャリア形成の為に各診療科が組織として進めている取り組みを、実際に活動されているワーキンググループの視点からご報告いただきます。このような勤務環境改善プロジェクトにより、本学に所属する女性医師・研究者の誰もが自身の理想とするキャリアイメージを実現できる環境が作られていくものと考えています。